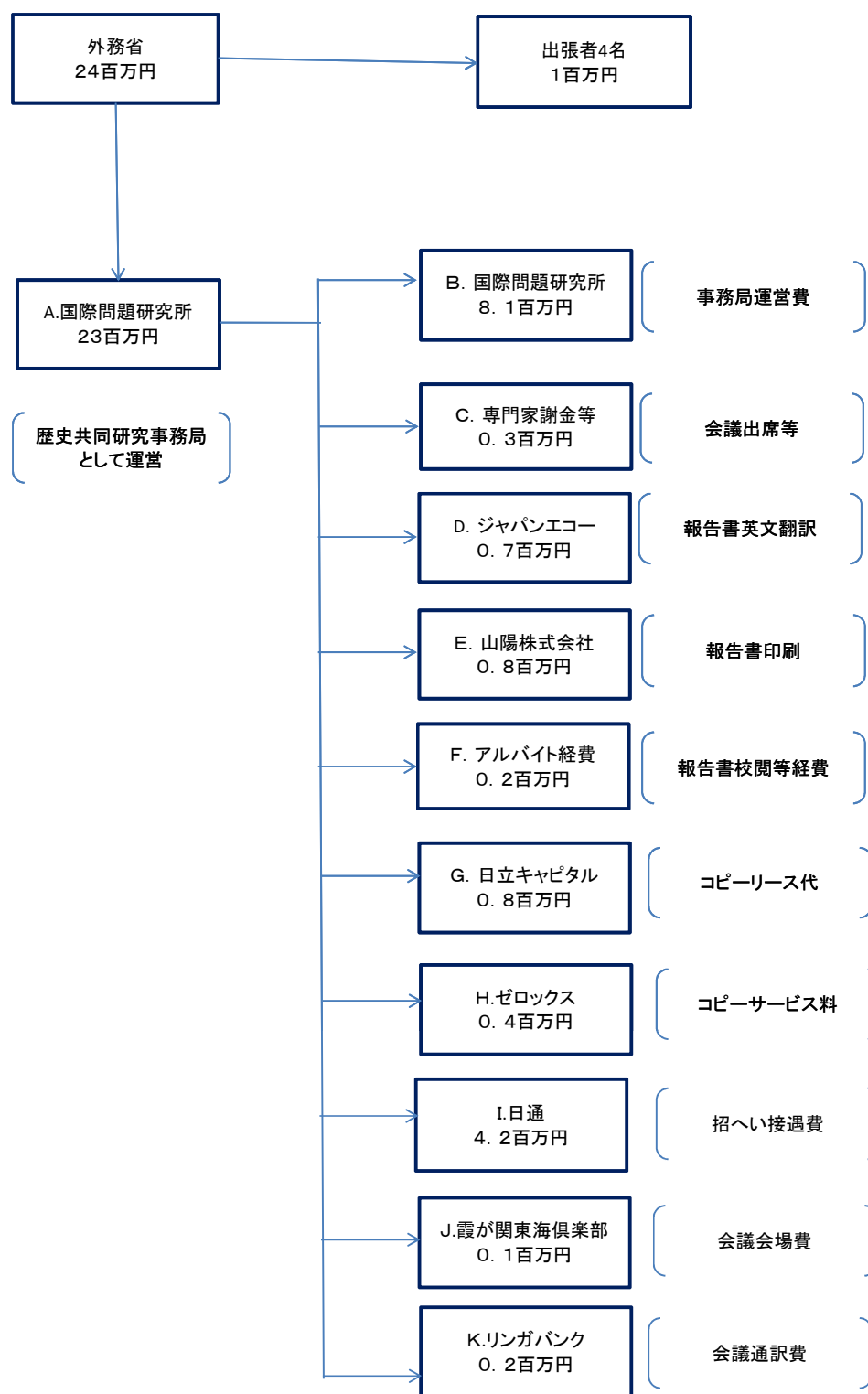


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日中歴史協同研究関係経費	担当部局庁	アジア大洋州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度開始	担当課室	中国・モンゴル課	課長 石川 浩司				
会計区分	一般会計	施策名	I-1 アジア大洋州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第41条	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日中歴史共同研究は、先の大戦のみならず、戦後60数年を含め、古代から現代に至る二千年余りの日中関係史について、両国の有識者官で様々な資料等を活用しつつ、忌憚のない議論を重ね、歴史に対する客観的認識を重ね、歴史に対する客観的認識を深めることによって相互理解を増進することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第2回共同研究の立上げ。日中双方の有識者から成る分科会及び全体会合を実施。双方委員作成の最終報告書(論文)作成、発表。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	48	47	37	36	32	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	48	47	37	36	32	
	執行額		61	44	25			
	執行率(%)		127	95	67			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	日中両委員が同じテーマについてそれぞれの立場から論文を作成。その過程において、議論を重ね、互いの認識の違いは違いとして正確に把握するよう努力した。このような議論を行うことで、歴史に対する客観的な認識を深めたことにより、相互理解のための一歩として意義があった。なお、本研究については、平成20年5月の胡錦濤国家主席訪日時に、日中両国首脳は歴史共同研究の果たす役割を高く評価し、今後も継続していくことで一致している。		成果実績 論文本数	論文0本	論文30本	論文36本		
			達成度	%	0	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成22年度は、日中双方の委員による報告書(論文)の日中翻訳版及び近現代史の英語訳版を作成。可能な限り多くの人々に研究内容を理解してもらうため、これら翻訳版を冊子及びHPで広く公開した。		活動実績 (当初見込み)	会議開催数	5	2	0	() ()
単位当たりコスト	70万円		算出根拠	本事業の目的は日中双方の歴史研究を通じて、歴史に対する客観的な認識を深めることにより相互理解を増進させることであり、単価当たりのコストを算出することはできない。しかしながら、仮に成果物である論文数で単価を出すとすると、平成22年度執行額は約25,000,000円であり、作成・翻訳した報告書の論文数は36本となるので、1論文当たり約70万円となる。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事務局人件費	6,408	6,912					
	会合関連費	7,375	13,839					
	報告書作成費	11,880	2,550					
	資料費	1,500	1,125					
	事務局備品費	1,435	1,379					
	諸経費	1,430	1,290					
	運営管理費	3,003	2,710					
	消費税	1,651	1,490					
	職員旅費	271	218					
	外国旅費	651	751					
計	35,604	32,264						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は随意契約。これは、日中首脳会談で委託先を決定したため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績については、日中関係や中国国内の事情等で必ずしも全てが見込みどおりに進んだとはいえないが、そのような中でもできる限りの活動は進めてきた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き、適正なコストの使用に努めつつ、同事業の目標を踏まえて、事業を進めていきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業の見直しによる減		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業の見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	運営費	日中歴史共同研究(前期)	19.0	翻訳費	和文英訳費	6.4
	運営費	日中歴史共同研究(後期)	4.0		手数料	0.6
	計		23.0	計		7.0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	事務局人件費(前期)	1.6	翻訳校閲費	アルバイト経費	0.16
	経費	光熱費・電話回線使用費等(前期)	0.2			
	運営管理費	運営管理費(前期)	0.3			
	人件費	事務局人件費(後期)	2.5			
	経費	光熱費・電話回線使用費等(後期)	0.8			
	運営管理費	運営管理費(後期)	1.7			
	雑費	文房具、郵送費等	1.0			
	計		8.1	計		0.16
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	謝金	専門家会議参加費等(7名)	0.1	コピーリース	リース代(4か月分)	0.3
				コピーリース	リース代(6か月分)	0.5
	計		0.1	計		0.8
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	印刷	日中翻訳版印刷費	0.6	サービス	メンテナンス等(4か月分)	0.1
	印刷	英語翻訳版印刷費(近現代部分のみ)	0.2	サービス	メンテナンス等(6か月分)	0.3
	計		0.8	計		0.4

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

I.					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
招へい手配	宿舎, 車両等手配費	4.2			
計		4.2	計		0.0
J.					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	会場費	0.1			
計		0.1	計		0.00
k.					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
通訳費	会議通訳費(日中)	0.2			
計		0.2	計		0.0
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際問題研究所	事務局運営費等(日中歴史共同研究:前期)	19	随意契約	—
2		事務局運営費等(日中歴史共同研究:後期)	4	随意契約	
3					

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際問題研究所	人件費, (前期)	1.6	随意契約	—
2		光熱費・電話回線使用費等(前期)	0.2	随意契約	—
3		運営管理費(前期)	0.3	随意契約	—
4		事務局人件費(後期)	2.5	随意契約	—
5		光熱費・電話回線使用費等(後期)	0.8	随意契約	—
6		運営管理費(後期)	1.7	随意契約	—
7		文房具, 郵送費等	1	随意契約	—
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(A～G)	専門家会議出席謝金(7名)	0.1	随意契約	—
2					

支出先上位10者リスト

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジャパンエコー	日中翻訳版印刷経費	0.6	随意契約	—
2		英語翻訳版印刷経費(近現代部分のみ)	0.2	随意契約	—

支出先上位10者リスト

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)山陽	和文英訳経費	6.4	随意契約	—
2		手数料	0.6	随意契約	—

支出先上位10者リスト

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(A)	補助員経費	0.16	随意契約	—
2					

支出先上位10者リスト

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立キャピタル	コピーリース経費(4ヶ月分)	0.3	随意契約	—
2		コピーリース経費(6ヶ月分)	0.5	随意契約	—

支出先上位10者リスト

H.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ゼロックス	メンテナンス経費(4ヶ月分)	0.1	随意契約	—
2		メンテナンス経費(6ヶ月分)	0.3	随意契約	—

支出先上位10者リスト

I.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日通	宿舎・車両手配経費	4.2	随意契約	—
2					

支出先上位10者リスト

J.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	霞ヶ関東海倶楽部	会議場借料	0.1	随意契約	—

支出先上位10者リスト

K.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リングバンク	会議通訳経費	0.2	随意契約	—
2					